

家庭学習3 (5月26日～)

6年生の家庭学習の課題です。調べるための簡単な参考資料を紹介していますが、本やインターネットなど可能な範囲で、各自が資料を見つけて詳しく調べられるといいと思います。

家庭学習8

課題12 ものが燃えることと空気には関係があるようです。

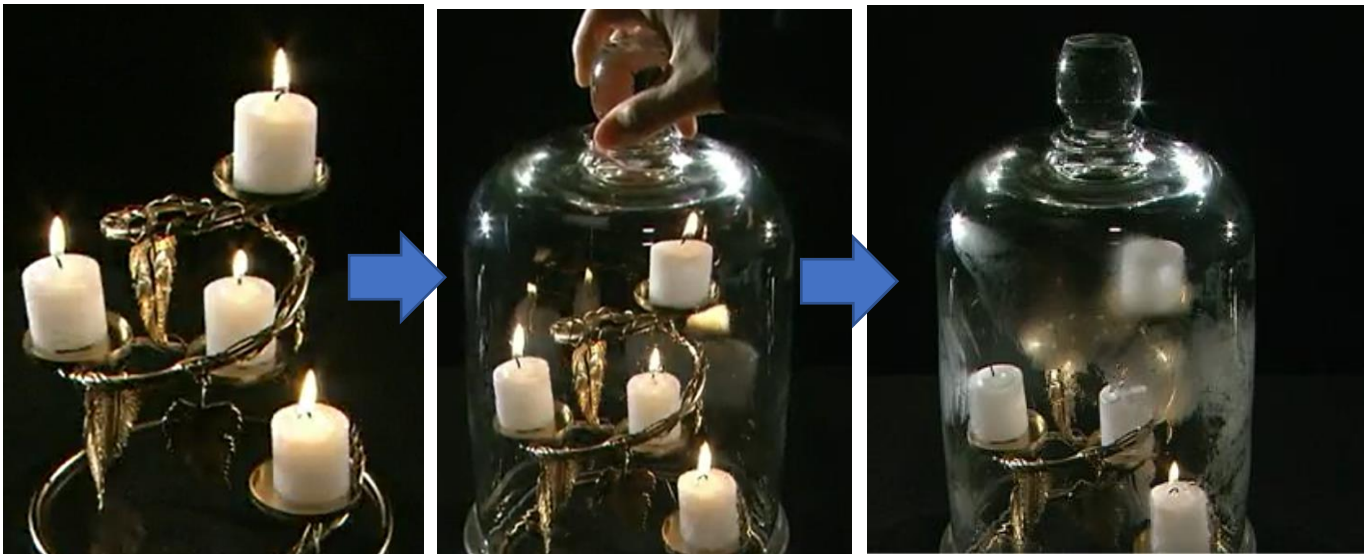
下のABCの写真(特にC)をよー——く見て気づいたことや考えたことを書きましょう。

- ① 燃えているろうそくに、びんをかぶせると、空気はどうなりますか。
- ② ビンをかぶせてしばらくするとCのようになりました。
Cをよく見て、気づいたことを書きましょう。
- ③ なぜ、Cのようになったのでしょうか。

自分の考えが正しいことを証明するには、どんな実験を行えばいいですか。

実験の図と方法・自分の考えが正しいければ実験結果はどうなるのかを書きましょう。

A ろうそくが燃えている → B ビンをかぶせる → C?



NHK for school クリップより

参考資料:消防庁消防大学校消防研究センター

(nrifd.fdma.go.jp/public_info/faq/combustion/index.html)

消防庁消防大学校消防研究センターキッズページ

(nrifd.fdma.go.jp/public_info/kids/index.html)

家庭学習9

物が燃えることと空気とのかかわりが、少しづつわかってきました。物を燃やすために、人はいろいろな工夫をしてきました。むかしの道具にも空気とのかかわりを生かしたものがあります。

課題13 かまどで、ご飯を炊くとき、竹のつつで息を吹きこんでいました、息を吹き込むことと物の燃え方には、そんな関係があるでしょうか。考えを書きましょう。

A かまど

B まきや燃えやすい葉などを入れて火をつける



C 竹の筒で息を吹き込んでいます。



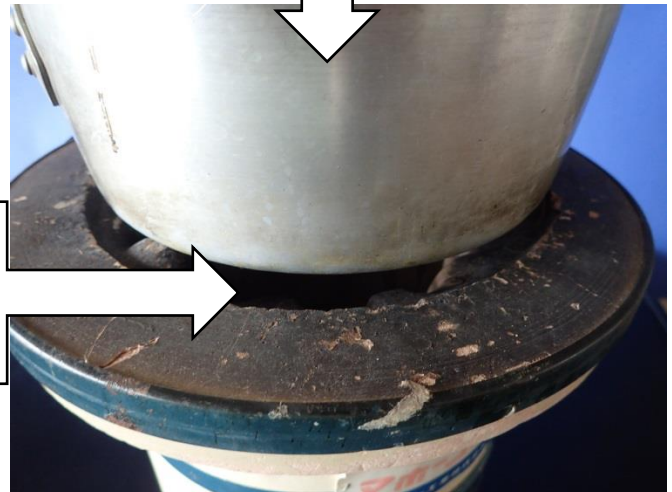
課題14

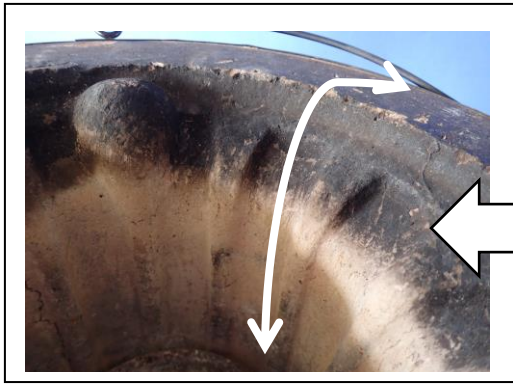
3年生の時に使った七輪です。安く買えるわずかな炭で煮たり焼いたりできたことから、七厘(厘は昔のお金の単位)とも言われたそうです。学校にある七輪をよく調べてみました。よく燃えるために考えられた工夫を見つけて説明しましょう。

七輪の姿

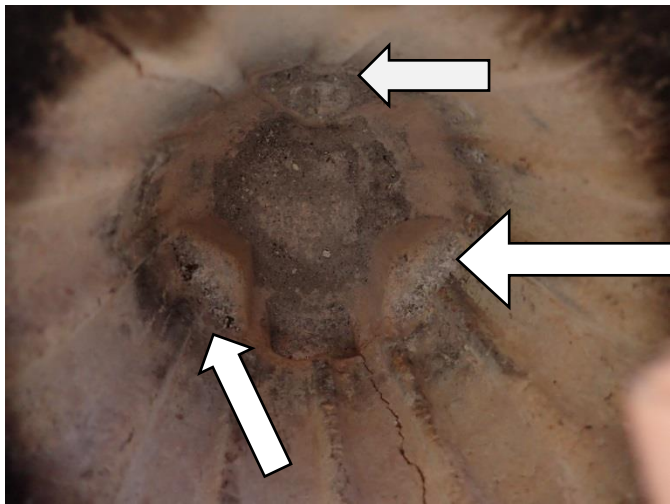


鍋をのせてみると
七輪との間にすきま・・・





底のほうに向かって、たてに、みぞがたくさんほられています。



底から少し上の所にも、3つのでっぱりがあります。

下の写真は「目皿」というものです。これを上の3つのでっばりに、のせます。その上に炭を置きます。目皿はでっばりに引っかかるので、そこに隙間ができます。





つまみを動かすと下にある窓を広げたりせばめたりすることができます。



七輪の秘密を たくさん見つけられましたか？

おまけ

七輪を使った後の炭は、「火消しつぼ」に入れて、ふたをします。

水をかけて、火を消した炭は、もう一度使おうと思っても、なかなか火がつきません。火消しつぼに入れて

火を消した「消し炭」は、火がつきやすく、次に七輪を使う時のいい種火となります。火消しつぼに入れた炭は、なぜ火が消えるのでしょうか。



火消しつぼ